

日本テコンドー協会（J T A）
2021年6月 理事会通信

日本テコンドー協会
理事長 河 明生

定例理事会における公開可能な決定事項につき告知します。

主要議題

第32回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会同等（以下、全日本FT大会同等）
蹴武型B級および蹴武型団体戦型 記録会実施

結論

蹴武型の技術力維持等をはかるため次の通り実施する。

優勝者には全日本FT大会同等の名誉（第32回全日本FT大会B級蹴武型優勝者と団体型優勝記録）と
賞状を授与する

名称 第32回全日本FT大会同等 蹴武型B級記録会 及び 団体型記録会

日時 2021年12月26日（日） 第24回関東テコンドー選手権大会開催時、実施

場所 横浜武道館（JR関内等） 注意 横浜武道館使用禁止の場合は中止となる

議題1 2021年5月理事会により全日本FT大会同等A級蹴武型記録会実施が決定された。
6月理事会の主たる議題は、全日本FT大会同等B級蹴武型等試合の実施の可否である。
約1年半のコロナ禍においても、組手選手とは異なり、
蹴武の型試合に

①平常心を維持し道場が使用できなくとも絶え間ない自己鍛錬をしている

②自主的かつ自律的に大会に参加している

等の要件を満たしている会員が存在している。

ゆえに、理事及び副理事の全員が、B級蹴武型の実施に異論がなかった。

議題2 問題はC級蹴武型の実施の可否であったが、この実施については異論があった（7月理事会継続審議）。

議題3 団体戦型実施の可否

上記議題に関する議論を終えると、

理事・武田から「団体戦型の実施につき議題に加えていただきたい」と提案があった。

この問題についても、理事及び副理事の全員が実施賛成意見であった。

賛成の主旨は、クラブ内に目標ができ、活気が満ち、団結力が向上するというものであった。
よって満場一致で実施することとした。

問題は、関西大会を中止したため中部、九州、四国等のチームをどのような基準で選抜するかにあった。
この点につき議論を重ねおおむね次の基準での選抜が有力となった。

団体戦型は、2021年度、公式試合で一度も実施されていないため
個人戦型試合のように「自主的かつ自律的に大会に参加している」という要件にあてはまらない。
ゆえに、2021年度、実施された公式試合に参加していなくとも参加を認めるべきである。

しかし、一定の水準に達していないのは問題がある。

そこで団体戦型に出場する団体は、

①自チームの型演武を動画撮影し、

②本部等に送信し審査を受ける、

という条件が示された。

理事及び副理事の全員が、この選抜方法に同意した。